



だより こぶし

特

集

知恵と力

平成22年度 事業報告、決算

事業計画、予算



きたばね

平成23年度

特集2

新こぶしだより宣言!! 新編集委員の素顔に迫る

NO.347

社会福祉法人
こぶしの会

We are social workers

【企画】社会福祉法人こぶしの会
【編集】こぶしだより編集委員会
【責任者】藤田勝春
【住所】〒三三二〇九九 宇都宮市柳田町一四〇一番地
【発行所】〒一五七〇〇三三 東京都世田谷区砧六―二六―二一
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円

社会福祉法人こぶしの会

| | |
|--------------------------------|--|
| 日中活動支援 | |
| ●こぶし作業所 | ☎321-0126 栃木県宇都宮市茂原町837-1 TEL 028(653)1020 FAX 028(688)1121 E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp |
| ●けやき作業所 | ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244 TEL 028(687)1040 FAX 028(677)5789 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp |
| ●第2けやき作業所 | ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401 TEL 028(677)0495 FAX 028(687)4818 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp |
| ●セルプ・みらい | ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23 TEL 0285(81)1155 FAX 0285(81)1177 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp |
| ●県東ライフサポートセンター「真岡」 | ☎321-4305 栃木県真岡市荒町3-9-5 TEL 0285(83)2567 FAX 0285(85)8055 E-mail klsc_mooka@themis.ocn.ne.jp |
| ●上三川ふれあいの家ひまわり | ☎329-0611 栃木県河内郡上三川町大字上三川5082-15 TEL 0285(38)6821 FAX 0285(38)6841 E-mail himawari@kobusi.or.jp |
| 居住生活支援 | |
| ●こぶしのときわ荘 | ☎321-0139 栃木県宇都宮市若松原2-6-8 TEL 028(653)1581 |
| ●くるみ | ☎321-0912 栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3 TEL 028(664)0435 |
| ●ホームひまわり | ☎321-3321 栃木県芳賀郡芳賀町大字下高根沢字下原3932-79 TEL 028(678)3592 |
| ●けやきハイツ | ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178 TEL 028(677)2876 |
| ●ホーム秋桜 | ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井184-1 TEL 028(677)0790 |
| ●コーボ峰 | ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井775-2 |
| ●ぼてっと | ☎321-4364 栃木県真岡市長田1-12-5 TEL 0285(80)1227 |
| 相談支援事業 | |
| ●障がい者生活支援センターこぶし | ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401 TEL 028(613)5703 FAX 028(666)6128 E-mail kobushi-sw@tenor.ocn.ne.jp |
| ●芳賀地区障害児者相談支援センター | ☎321-4363 栃木県真岡市荒町110-1市総合福祉保健センター内 TEL 0285(80)7765 FAX 0285(80)7765 |
| ●上三川障がい児・者生活相談支援センター | ☎329-0611 栃木県河内郡上三川町大字上三川5082-15 TEL 0285(38)6854 FAX 0285(38)6841 E-mail kaminokawa-sw@kobusi.or.jp |
| ●県東圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」 | ☎321-4363 栃木県真岡市荒町111-1 TEL 0285(85)8451 FAX 0285(85)8452 E-mail p-cc-star@ec3.technowave.ne.jp |
| ●県東ライフサポートセンター「ほっとCHA」 | ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244 TEL 090(7820)9165 |
| ●上三川ふれあいの家ひまわり地域活動支援センター | ☎329-0611 栃木県河内郡上三川町大字上三川5082-15 TEL 0285(38)6821 FAX 0285(38)6841 |
| 法人本部 | |
| ●総務企画部 | ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401 TEL 028(613)3707 FAX 028(666)6128 E-mail soumukikaku@kobusi.or.jp |
| ●就労支援部 | TEL 028(666)0439 FAX 028(666)6128 E-mail skb@kobusi.or.jp |
| ●居住生活支援部 | TEL 028(666)0418 FAX 028(666)6128 E-mail kyozuu@kobusi.or.jp |

本会の定款、事業計画、財務諸表等を閲覧ご希望の方は、各事業所までお申し出ください (閲覧時間 8:30 ~ 17:00)

特集 1

平成二二年度 事業報告及び決算 の足元をみつめて

本法人は、以下の基本目標のもとに、平成二二年度事業を実施しました。

- (1) 働きがいのある本格的な生産活動を基礎に高工賃の実現や、支援水準を高め、利用者の強いねがいを実現する。
- (2) 職員が働きがい、働きがいを持つシステム構築と実施
- (3) みんなでつくる社会福祉法人こぶしの会の実質化
- (4) これらを実現するための法人機能の強化（組織改革）

これらの目標は、どこまで実現できたのか。また、積み残した課題を次年度にどのようにつなげていくのか、一年間のとりくみをご報告します。

1 はたらくこと、健康維持・リハビリ等日中活動への支援

- 《成果》
- ① 計画開始から十年の歳月を要したが、長年の悲願であったこぶし作業所の新築移転が実現。作業内容は、下請け作業中心から、弁当・パンの製造などに変わった。新しく広く大人数になった作業所にとまどいながらも、意欲的に作業にとりくむ利用者の姿に感動。忙しく慌ただしい一年であった。
 - ② けやき作業所は、年度途中からパン製造一本に作業を特化。国の補助金を受け、パン製造の大型最新設備を整備。障がいのある利用者は、絵画指導講師の援助を得てカレンダーを製造・販売。働きがいをつくる生活介護事業にチャレンジした。
 - ③ 第2けやき作業所は、けやき作業所から弁当事業を引継ぎ、開始。ヤマト運輸のメール便も開始。一般就労二名実現。しかし、三月一日の東日本大震災被災により作業所は一時休止。新たな拠点づくりと作業内容の再構築が急務となった。
 - ④ セルプ・みらいは、県東ライフサポートセンターとともに「お菓子工房ピケ」を

十二月にオープン。弁当とあわせ、営業・販売班を立ち上げ、販売促進。利用者・利用率とも増加。一般就労一名実現。

- ⑤ 県東ライフサポートセンターは、地域活動支援センターから多機能型就労支援事業所に移行。利用者も安定して作業に従事できた。一般就労二名実現。



それぞれの重点支援課題を意識しながら、共通事項として働きがい、働きがいの持つ生産活動、プログラムの内容にチャレンジした。

- ⑥ 法人内全事業所が、障害者自立支援法に基づき新しい事業体系に移行。就労移行支援事業、就労継続支援事業（B型）、生活介護事業、自立訓練事業、短期入所事業、それぞれの内容にチャレンジした。
- ⑦ 法人内事業所の生産活動の特徴は、食（パン・弁当・菓子）と店舗事業であるが、アドバイザー、専門家の指導を導入し、質の向上にとりくんだ。
- ⑧ 上記を反映して、これまで各事業所ごとに定められていた利用者工賃規程を改め、所長会議の検討を経て全事業所共通の利用

者工賃規程を制定した。

- ⑨ 看護師、理学療法士の配置により、健康面でのとりくみ、リハビリを開始した。



《課題》

- (1) こぶしの会のサービスを利用するすべての利用者工賃三万円を追求する課題
生産活動部を設置し、スイーツ、パン、給食・弁当の各プロジェクト会議、店舗会議、また所長会議、主任会議等において、年間を通して品質向上、作業の標準化、収益アップ等の課題にとりくみ、職員の意識改革の面で大きな成果（三万円を目指すことは、職員に

とって重要な支援内容であるとの共通認識となった。）があったが、目標工賃には遠く及ばなかった。次年度に実現すべき第一の課題である。

(2) 利用者支援の最適化の課題

- ① 新たに設置された就労・生活支援部は、働くことを中核として、健康保持・リハビリ等を含む日中活動支援のマニュアルづくりにとりくみ、「生活介護スタッフの手引き」を作成したが、医療的ケアを必要とする重度・重複障がい者の支援についての検討は、次年度に持ち越された。
- ② 制度的なサービス事業分類に左右されない就労・生活・医療・リハビリテーション支援体系の中で利用者一人ひとりの個別支援を可能にする総合的なマニュアルの作成については中途に終わり、早期作成が課題である。
- ③ 障がいを深く理解し、利用者の個別支援を実践するためにICF（国際生活機能分類）の研修を全職員を対象に実施したが、支援の質を高めるためには、単発的な研修に終わらせず、個別支援計画作成の手引きの作成、日常的な職場内研修等を組織的、系統的に進めることが課題として残った。

(3) 財政的課題

就労支援会計は、県東ライフサポートセンター・真岡を除いてマイナス決算となった。また、就労支援事業活動による収支（利用者の作業収支）においては、第2けやき作業所、県東ライフサポートセンター真岡が黒字となったが、こぶし作業所、けやき作業所、セルプ・みらいにおいては、マイナスとなった。

2 暮らしへの支援 (グループホーム・ケアホーム事業)

《成果》

- ① 法人所有のバリアフリーケアホームの新築・開設を含む三グループホーム・五ケアホーム（利用定員四七名、宇都宮市内二か所、芳賀町内五か所、真岡市内一か所）を運営し、老朽化した賃貸物件の新築物件への住み替えも行い、生活環境は大きく改善された。
- ② 生活部門の事業拡大に伴い、本格的にくらしを支える居住生活支援事業部を設置し、法人としての一体的な管理運営体制を築き、世話人全体会議、各地区会議等を通して、支援理念・支援課題の共有化の場を設けた。

- ③ ケアホームの複数職員勤務体制実現。
- ④ 世話人の支援を均質化するための支援マニュアルを随時改訂した。
- ⑤ ホームごとの利用者懇談会を実施。利用者の意見を反映した運営に努めた。



《課題》
(1) 利用者生活支援の最適化の課題

① 世話人勤務の特殊性(実際の仕事は、一人または二人で行う職場)、新任、福祉現場未経験、非常勤勤務等の世話人が多いという現状のなかで、生活を支える総合的な支援力を高めるための研修体制、勤務条件の改善が緊急の課題である。

3 相談支援サービス等

《成果》

- ① チャレンジセンター(県東圏域就業・生活センター)は、ジョブコーチ支援事業、ジョブサポーター支援事業(新規)との一体的な運営を行い、圏域内の中核的な就労支援センター化をめざした。さらに、ハローワークと共催して就労支援事業所とのネットワーク会議を開催し、管内のほぼすべての就労移行支援事業において一名以上



- ② 大規模化しつつある利用定員(一ホーム七名から八名)を見直し、少人数のケアホーム、アパートタイプのホーム等、利用者のニーズに応えるホームのありかたについての検討が必要である。
- ③ 家族からの要望の高い短期入所事業を実現する。
- ④ 東日本大震災の教訓から学んで防災対策を強化する。
- (2) 連携強化の課題
利用者の地域における自立生活支援の立場に立ち、教育、医療、他のサービス提供機関、行政、地域住民等と連携する力をつける。

- ④ 県東ライフサポートセンターほっとCH Aは、利用者の中から三名の社会復帰者があった。

《課題》

- (1) チャレンジセンターでは、地域で支える職業生活のフォローアップ、就労支援ネットワークを構築することが課題である。
- (2) 相談支援センターでは、高次脳機能障がい者、矯正施設退所者の受け入れ施設、精神障がい者の入院できる病院等の社会資源が少なく、苦慮している。
- (3) 障がい者生活支援センターこぶしは、震災等の影響もあり相談室、関係者会議の開催の場を確保することが困難な状況である。

4 職員の働きがい

どのような働きがいを

《現状》

平成二二年度は、五多機能型事業所職員六四名、居住支援事業部二四名、就労・生活支援事業を含む相談支援事業所一一名、総務・企画部六名、生産活動部二名、本部管理職員五名、計一一二名(うち正規職員四七名、常勤臨時職員三〇名、短時間臨時職員二四名、嘱託職員五名)という職員構成となった(平成二三年三月三十一日現在)。

一・二名の職員のうち、正規職員の雇用率は四二%となり、多様な価値観、経験の差、職務に対する責任の軽重の格差などの一方で、求められる福祉の専門性もますます高く、多様になっている。

《成果》

- ① 事業・財政計画委員会は、第三次長期計画策定作業を開始した。
- ② 人事委員会は、キャリアパス制度の構築と人事・給与制度の具体化を目指して、職種、労働形態等の実態に基づく諸課題について検討した。また、支援マニュアルの作成は、職務内容に基づいた職場内教育・研修制度、人事評価、キャリアパスと密接に関係するものとして位置づけた。
- ③ 総務企画部は、地域福祉や広範に及ぶ事業の展開の中で、職員の一体感形成の一助となる課題として情報共有化システムの構築にとりくんだ。
- ④ 教育研修委員会は、全職員研修会(二回)基礎研修会(四地区)、実践交流研修会(一回)を実施した。

《課題》

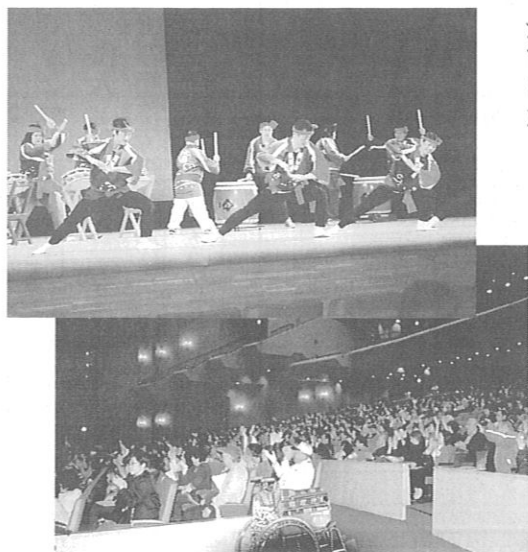
- ① 人事委員会、教育研修委員会は、キャリアパス制度、教育研修体系についての検討を次年度に継続し、一定の結論を提案する。
- ② 広報・情報共有化、情報管理について

5 みんなでつくる社会福祉法人

こぶしの会の実質化

《成果》

- ① 法人三十周年記念「荒馬座公演」は、家族会、後援会の協力を得て成功させることができた。



- ② 法人としての横断的な課題をもつ総務企画部門、日中活動支援部門、居住生活支援部門、地域生活支援部門の責任者と各事業所所長の兼務体制を改善し、専任の部長、

の就職者を出すことができた。職場実習、就職件数とも目標値を達成し、就職者の定着率も二二年度を上回った。

- ② 障がい者生活支援センターこぶしは、個別支援会議の開催等を通して関係機関・組織等との連携が進み、重症心身障がい児・者や重度自閉症者等の困難ケースについての協力関係が深まった。
- ③ 芳賀地区障害児者相談支援センターは、同地区の相談支援専門員と協力して研修会やケース検討会を実施することで、地域のネットワークの構築につながり、相談支援センターのもつノウハウを地域に還元することができた。

平成22年度 貸借対照表総括表
平成22年4月1日～平成23年3月31日

| 科目名称 | 決算額 | 前年度末 | 増減 | 科目名称 | 決算額 | 前年度末 | 増減 |
|------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------|---------------|---------------|
| 資産の部 | | | | 負債の部 | | | |
| 流動資産 | 251,376,658 | 396,995,618 | ▲ 145,618,960 | 流動負債 | 138,015,227 | 269,842,055 | ▲ 131,826,828 |
| 小口現金 | 360,609 | 389,276 | ▲ 28,667 | 買掛金 | 4,708,961 | 3,866,561 | 842,400 |
| 当座預金 | 0 | 33,938 | ▲ 33,938 | 未払金 | 96,058,484 | 261,845,660 | ▲ 165,787,176 |
| 普通預金 | 54,944,914 | 83,928,263 | ▲ 28,983,349 | 預り金 | 1,579,013 | 2,580,094 | ▲ 1,001,081 |
| 定期預金 | 0 | 0 | 0 | 前受金 | 1,668,769 | 1,549,740 | 119,029 |
| 売掛金 | 3,106,693 | 1,969,079 | 1,137,614 | 会計単位内借入金 | 0 | 0 | 0 |
| 原材料 | 380,310 | 163,851 | 216,459 | 会計単位外借入金 | 0 | 0 | 0 |
| 未収金 | 189,263,746 | 307,815,400 | ▲ 118,551,654 | 短期運営資金借入金 | 34,000,000 | 0 | 34,000,000 |
| 立替金 | 0 | 885,499 | ▲ 885,499 | | 0 | | |
| 前払金 | 3,304,655 | 1,810,312 | 1,494,343 | | 0 | | |
| 会計単位内貸付金 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | |
| 会計単位外貸付金 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | |
| 貯蔵品 | 15,731 | 0 | 15,731 | | 0 | | |
| | 0 | | | | 0 | | |
| 仮払金 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | |
| 固定資産 | 768,571,039 | 753,516,002 | 15,055,037 | 固定負債 | 118,888,731 | 124,280,369 | ▲ 5,391,638 |
| 基本財産 | 637,382,591 | 360,280,818 | 277,101,773 | 設備資金借入金 | 100,859,999 | 103,519,999 | ▲ 2,660,000 |
| 建物 | 440,562,339 | 259,228,626 | 181,333,713 | 退職給与引当金 | 18,028,732 | 20,760,370 | ▲ 2,731,638 |
| 建物付属設備 | 91,162,591 | 16,269,639 | 74,892,952 | | 0 | | |
| 土地 | 105,657,661 | 84,782,553 | 20,875,108 | | 0 | | |
| その他の固定資産 | 131,188,448 | 393,235,184 | ▲ 262,046,736 | 負債の部合計 | 256,903,958 | 394,122,424 | ▲ 137,218,466 |
| 建物 | 23,363,141 | 223,394,023 | ▲ 200,030,882 | 純資産の部 | | | |
| 建物付属設備 | 19,184,745 | 86,017,867 | ▲ 66,833,122 | 基本金 | 188,637,892 | 175,707,892 | 12,930,000 |
| 構築物 | 763,132 | 1,033,907 | ▲ 270,775 | 基本金 | 188,637,892 | 175,707,892 | 12,930,000 |
| 機械及び装置 | 18,537,967 | 3,411,331 | 15,126,636 | 国庫補助金等特別積立金 | 440,786,509 | 432,097,390 | 8,689,119 |
| 車輛運搬具 | 4,785,944 | 6,025,465 | ▲ 1,239,521 | 国庫補助金等特別積立金 | 440,786,509 | 432,097,390 | 8,689,119 |
| 器具及び備品 | 19,124,195 | 14,296,374 | 4,827,821 | その他の積立金 | 15,798,583 | 15,789,203 | 9,380 |
| 土地 | 0 | 20,875,108 | ▲ 20,875,108 | 設備整備等積立金 | 587,952 | 587,952 | 0 |
| 建設仮勘定 | 0 | 0 | 0 | 建設資金積立金 | 2,583,771 | 2,583,391 | 380 |
| 権利 | 1,160,262 | 922,995 | 237,267 | 移行時特別積立金 | 9,644,400 | 9,644,400 | 0 |
| ソフトウェア | 396,717 | 654,511 | ▲ 257,794 | 授産移行時特別積立金 | 1,664,000 | 1,664,000 | 0 |
| 設備整備等積立預金 | 587,952 | 587,952 | 0 | 修繕積立金 | 1,309,460 | 1,309,460 | 0 |
| 建設資金積立預金 | 2,583,771 | 2,583,391 | 380 | | | | |
| 移行時特別積立預金 | 9,644,400 | 9,644,400 | 0 | | | | |
| 授産移行時積立預金 | 1,664,000 | 1,664,000 | 0 | 次期繰越活動収支差額 | 117,829,755 | 132,794,711 | ▲ 149,649,56 |
| 修繕費積立預金 | 1,309,460 | 1,309,460 | 0 | 次期繰越活動収支差額 | 117,829,755 | 132,794,711 | ▲ 149,649,56 |
| 共済財団退職金預け金 | 18,028,732 | 20,760,370 | ▲ 2,731,638 | (うち当期活動収支差額) | -14,964,576 | -21,580,840 | 66,162,64 |
| 預託金 | 54,030 | 54,030 | 0 | | | | |
| 投資有価証券 | 10,000,000 | 0 | 10,000,000 | 純資産の部合計 | 763,043,739 | 756,389,196 | 66,544,543 |
| 資産の部合計 | 1,019,947,697 | 1,150,511,620 | ▲ 130,563,923 | 負債及び純資産の部合計 | 1,019,947,697 | 1,150,511,620 | ▲ 130,563,923 |

① 厳しい財政の中で実施された常勤理事・部長の専任化は、法人運営の改善に大きな成果をもたらすことが期待されたが、未達成の課題を多く積み残した。このことは、組織の改変によって従来からの問題点や課題が具体的に把握され、その当面の対応に終始し、計画をより実践的に練り直すのに一年を要したという実態でもあるが、それを上回って本事業計画の推進に責任を持つ常勤理事、専任部長のマネージメント（職員力を束ね、課題解決）力の不十分さが原因である。法人内の現状把握と法人課題の解決への具体的ビジョンを示しその先頭

② 総務企画部は、各事業所に所属していた庶務会計職員を法人所属職員として配属し、法人としての一体的な管理運営をより進めることのできる組織とした。

③ 全く新たな管理職員で構成された各事業所（五月中活動、一居住生活支援事業所）の若い幹部職員（所長・主任）は、地域関係者からも評価を受ける奮闘を見せた。

④ 所長を配置し、独自に課題追求をする組織体制とした。さらに、各事業所をまとめる地域事業部を設置し、所長会議、主任会議を通して諸課題の遂行、支援力の向上に取り組んだ。

お菓子工房ピケ

平成22年12月にオープンしました、お菓子工房ピケと申します。まだまだ始まったばかりで種類はございませんが手作りで愛情込めて作ります。

♡

◇こらっくショコラ

小 250円

大 1300円



◇ちーおタルト

小 300円

大 1500円



◇まっぷるタルト

小 300円

大 1500円



住所 真岡市荒町3-9-5
電話 0285-81-7091
携帯電話 090-6037-5211
FAX 0285-81-7092

に立つこと、さらに、ビジョンを進める情報集約と迅速な方針の決定、課題の対応のしくみづくり、また、事業運営管理についての意思決定のルール化、現場の困難を共有する人間関係づくりが求められたが、役割を果たすことが不十分であった。

② 具体的には、第三次長期計画の策定、人事・給与、キャリアパス制度の整備、その基礎となる業務の標準化（マニュアル、プ

ログラムの作成）、さらにその基盤となる生産活動の確立や一元的財政活動、東日本大震災被災やインフルエンザの対応で試された危機管理能力など直面する緊急の課題への対応をよりわかりやすくマニュアル化できなかったことは、大きな課題である。

③ 法人全体の総務・財政管理運営と各事業所の庶務・会計実務とのありかたについては、今後実務的な改善を進めていく。

平成22年度事業活動収支計算書(総括表)
平成22年4月1日~平成23年3月31日

| 会計区分 | | 決算額 | 法人本部 | 就労支援会計 | 一般会計 | 公益事業会計 | 収益事業会計 |
|---------------|---------------------|----------|------|----------|------|--------|--------|
| 活動区分・科目 | | | | | | | |
| 就労支援事業活動による収支 | 収入 | 57705697 | 0 | 57705697 | 0 | 0 | 0 |
| | 支出 | 63052604 | 0 | 63052604 | 0 | 0 | 0 |
| | 就労支援事業活動資金収支差額③=①-② | ▲5346907 | 0 | ▲5346907 | 0 | 0 | 0 |

| | | | | | | | | |
|-----------------|------------|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|--------|
| 福祉事業活動による収支 | 収入 | 自立支援費等収入 | 391729963 | 0 | 303445502 | 88284461 | 0 | 0 |
| | | 補助事業等収入 | 69656724 | 450000 | 22767940 | 23553821 | 22884963 | 0 |
| | | その他の事業収入 | 396000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 396000 |
| | | 寄付金収入 | 2563709 | 1255309 | 1168400 | 140000 | 0 | 0 |
| | | 雑収入 | 11458510 | 1189691 | 7690841 | 2571657 | 6321 | 0 |
| | | 引当金戻入 | 6021282 | 0 | 6021282 | 0 | 0 | 0 |
| | | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | 21609877 | 1462550 | 19131779 | 1015548 | | 0 |
| | 福祉事業活動収入計④ | 503436065 | 4357550 | 360225744 | 115565487 | 22891284 | 396000 | |
| | 支出 | 人件費支出 | 342342488 | 55422007 | 194579928 | 75394232 | 16946321 | 0 |
| | | 事務費支出 | 74346964 | 18101039 | 34248263 | 14686067 | 7286995 | 24600 |
| | | 事業費支出 | 60277280 | 0 | 32674883 | 27542214 | 60183 | 0 |
| | | 減価償却費 | 33444005 | 2353675 | 27061629 | 4028701 | 0 | 0 |
| | | 引当金繰入 | 3289644 | 0 | 2618700 | 485808 | 185136 | |
| | | 福祉事業活動支出計⑤ | 513700381 | 75876721 | 291183403 | 122137022 | 24478635 | 24600 |
| 福祉事業活動収支差額⑥=④-⑤ | | ▲10264316 | ▲71519171 | 69042341 | ▲6571535 | ▲1587351 | 371400 | |

| | | | | | | | | |
|-----------------|-----------|----------------|-----------|----------|-----------|----------|---------|---------|
| 事業活動外収支 | 収入 | 借入金利息補助金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 受取利息配当金収入 | 23782 | 6897 | 12733 | 2357 | 1795 | 0 |
| | | 会計単位繰入金収入 | 9606631 | 1220400 | 3523795 | 3276880 | 1585556 | 0 |
| | | 経理区分間繰入金収入 | 85612367 | 85035897 | 576470 | 0 | 0 | 0 |
| | | 事業活動外収入計⑦ | 95242780 | 86263194 | 4112998 | 3279237 | 1587351 | 0 |
| | 支出 | 借入金利息支出 | 1548777 | 67068 | 822678 | 659031 | 0 | 0 |
| | | 会計単位間繰入金支出 | 9606631 | 2130741 | 2731695 | 4372795 | 0 | 371400 |
| | | 経理区分間繰入金支出 | 85612367 | 576470 | 85035897 | 0 | 0 | 0 |
| | | 事業活動外支出計⑧ | 96767775 | 2774279 | 88590270 | 5031826 | 0 | 371400 |
| | | 事業活動外収支差額⑨=⑦-⑧ | ▲1524995 | 83488915 | ▲84477272 | ▲1752589 | 1587351 | ▲371400 |
| 経常経費収支差額⑩=③+⑥+⑨ | ▲17136218 | 11969744 | ▲20781838 | ▲8324124 | 0 | 0 | | |

| | | | | | | | | |
|---------------|-----------|----------------|-----------|----------|----------|---------|---|---|
| 特別収支の部 | 収入 | 施設整備等補助金収入 | 31595000 | 10400000 | 19995000 | 1200000 | 0 | 0 |
| | | 施設整備等寄付金収入 | 14930000 | 10270000 | 4660000 | 0 | 0 | 0 |
| | | 過年度減価償却超過額 | 0 | | | | | |
| | | 前期繰越収支差額調整額 | 0 | | | | | |
| | | 国庫補助金等特別積立金取崩額 | 543226 | | 543226 | | | |
| | 特別収入計⑪ | 47068226 | 20670000 | 25198226 | 1200000 | 0 | 0 | |
| | 支出 | 基本金組入額 | 12930000 | 10270000 | 2660000 | 0 | 0 | 0 |
| | | 国庫補助金等特別積立金積立額 | 31595000 | 10400000 | 19995000 | 1200000 | 0 | 0 |
| | | 固定資産売却損・処分損 | 371584 | 0 | 371584 | 0 | 0 | 0 |
| | | 特別支出計⑫ | 44896584 | 20670000 | 23026584 | 1200000 | 0 | 0 |
| 特別収支差額⑬=⑪-⑫ | | 2171642 | 0 | 2171642 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期活動収支差額⑭=⑩+⑬ | ▲14964576 | 11969744 | ▲18610196 | ▲8324124 | 0 | 0 | | |

| | | | | | | | |
|-----------------------|------------------|-----------|----------|-----------|-----------|-------|---|
| 繰越活動収支の部 | 前期繰越活動収支差額⑮ | 132794711 | 52548036 | 87760914 | ▲7600396 | 86157 | 0 |
| | 当期末繰越活動収支差額⑯=⑮+⑭ | 117830135 | 64517780 | 69150718 | ▲15924520 | 86157 | 0 |
| | 基本金取崩額⑰ | 0 | | 0 | | | |
| | 基本金組入額⑱ | 0 | 0 | | | | |
| | その他の積立金取崩額⑲ | 12213755 | 9649544 | 425898 | 1138313 | | |
| | その他の積立金積み立て額⑳ | 11214135 | 1365739 | 9693592 | 154804 | | |
| 次期繰越活動収支差額㉑=⑯+⑰+⑱+⑲+⑳ | 117829755 | 72801585 | 59883024 | ▲14941011 | 86157 | 0 | |

平成22年度資金収支計算書(総括表)
平成22年4月1日~平成23年3月31日

| 会計区分 | | 決算額 | 法人本部 | 就労支援会計 | 一般会計 | 公益事業会計 | 収益事業会計 |
|-----------|----------------|------------|------|------------|------|--------|--------|
| 活動区分・科目 | | | | | | | |
| 事業活動による収支 | 収入 | 57,705,697 | 0 | 57,705,697 | 0 | 0 | 0 |
| | 支出 | 62,688,282 | 0 | 62,688,282 | 0 | 0 | 0 |
| | 就労支援事業活動資金収支差額 | -4,982,585 | 0 | -4,982,585 | 0 | 0 | 0 |

| | | | | | | | | |
|--------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|---------|
| 福祉事業活動による収支 | 収入 | 自立支援費等収入 | 391,729,963 | 0 | 303,445,502 | 88,284,461 | 0 | 0 |
| | | 補助事業等収入 | 69,656,724 | 450,000 | 22,767,940 | 23,553,821 | 22,884,963 | 0 |
| | | その他の事業収入 | 396,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 396,000 |
| | | 寄付金収入 | 2,563,709 | 1,255,309 | 1,168,400 | 140,000 | 0 | 0 |
| | | 雑収入 | 11,458,510 | 1,189,691 | 7,690,841 | 2,571,657 | 6,321 | 0 |
| | | 借入金利息補助金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 受取利息配当金収入 | 23,782 | 6,897 | 12,733 | 2,357 | 1,795 | 0 |
| | 支出 | 会計単位間繰入金収入 | 9,606,631 | 1,220,400 | 3,523,795 | 3,276,880 | 1,585,556 | 0 |
| | | 経理区分間繰入金収入 | 85,612,367 | 85,035,897 | 576,470 | 0 | 0 | 0 |
| | | 福祉事業収入計 | 571,047,686 | 89,158,194 | 339,185,681 | 117,829,176 | 24,478,635 | 396,000 |
| | | 人件費支出 | 342,342,488 | 55,422,007 | 194,579,928 | 75,394,232 | 16,946,321 | 0 |
| | | 事務費支出 | 74,346,964 | 18,101,039 | 34,248,263 | 14,686,067 | 7,286,995 | 24,600 |
| | | 事業費支出 | 60,277,280 | 0 | 32,674,883 | 27,542,214 | 60,183 | 0 |
| | | 借入金利息支出 | 1,548,777 | 67,068 | 822,678 | 659,031 | 0 | 0 |
| 会計単位間繰入金支出 | 9,606,631 | 2,130,741 | 2,731,695 | 4,372,795 | 0 | 371,400 | | |
| 経理区分間繰入金支出 | 85,612,367 | 576,470 | 85,035,897 | 0 | 0 | 0 | | |
| 福祉事業支出計 | 573,734,507 | 76,297,325 | 350,093,344 | 122,654,339 | 24,293,499 | 396,000 | | |
| 福祉事業活動資金収支差額 | -2,686,821 | 12,860,869 | -10,907,663 | -4,825,163 | 185,136 | 0 | | |

| | | | | | | | | |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|---|---|
| 施設整備等による収支 | 収入 | 施設整備等補助金収入 | 31,595,000 | 10,400,000 | 19,995,000 | 1,200,000 | 0 | 0 |
| | | 施設整備等寄付金収入 | 14,930,000 | 10,270,000 | 4,660,000 | 0 | 0 | 0 |
| | | 固定資産売却収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 施設整備等収入計 | 46,525,000 | 20,670,000 | 24,655,000 | 1,200,000 | 0 | 0 | |
| | 支出 | 固定資産取得支出 | 42,951,174 | 15,463,015 | 25,817,400 | 1,670,759 | 0 | 0 |
| 元入金支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 施設整備等支出計 | 42,951,174 | 15,463,015 | 25,817,400 | 1,670,759 | 0 | 0 | | |
| 施設整備等資金収支差額 | 3,573,826 | 5,206,985 | -1,162,400 | -470,759 | 0 | 0 | | |

| | | | | | | | | |
|------------|------------|-------------|------------|------------|-----------|---------|---------|---|
| 財務活動による収支 | 収入 | 借入金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 積立金取崩収入 | 315 | 315 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他の収入 | 6,021,282 | 0 | 6,021,282 | 0 | 0 | 0 |
| | 財務収入計 | 6,021,597 | 315 | 6,021,282 | 0 | 0 | 0 | |
| | 支出 | 借入金元金償還金支出 | 2,660,000 | 0 | 2,660,000 | 0 | 0 | 0 |
| | | 積立金積立支出 | 185,136 | 0 | 0 | 0 | 185,136 | 0 |
| | | その他の支出 | 13,105,203 | 10,000,695 | 2,618,700 | 485,808 | 0 | 0 |
| 財務支出計 | | 15,950,339 | 10,000,695 | 5,278,700 | 485,808 | 185,136 | 0 | |
| 財務活動資金収支差額 | -9,928,742 | -10,000,380 | 742,582 | -485,808 | -185,136 | 0 | | |
| 予備費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |

| | | | | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|------------|--------|---|
| 当期資金収支差額合計 | -14,024,322 | 8,067,474 | -16,310,066 | -5,781,730 | 0 | 0 |
| 前期末支払資金残高 | 126,989,712 | 24,048,523 | 93,130,736 | 9,724,296 | 86,157 | 0 |
| 当期末支払資金残高 | 112,965,390 | 32,115,997 | 76,820,670 | 3,942,566 | 86,157 | 0 |

平成二三年度 事業計画及び予算 知恵と力をたばねる

はじめに

平成二三年度の事業計画は、三月末の理事会、評議員会で決定し、すでに三か月が経過しました。この間、第2けやき作業所（芳賀町）が東日本大震災被害からどのように復興していくのかを、利用者、関係行政機関等と協議を重ね、暫定的ではありますが、ようやくおおよその方向が定まりました。このことにより、法人全体の就労支援・生産関係、法人の事務所機能等が軌道修正され、当初の事業計画とは異なることも発生し、必要な補正予算も決定したところです。

例年とは違ったスタートとなりましたが、利用者、家族、後援会、関係機関等の皆様のお力添えをいただきながら歩んでまいりたいと考えております。どうぞご指導、ご協力のほどお願い申し上げます。

I 重点課題

- (1) 利用者のニーズに答え、利用者が主人公となる事業の推進
 - ・ 利用者のニーズに依拠した個別支援計画の実施とプログラムの構築
- (2) ニーズ実現のための組織改善
 - ・ 学びつつ実践をつくり深めるとりくみ
- (3) 利用者ニーズを内外の福祉ネットワークづくりの中で実現する
 - ・ 組織内マンパワーをつなぎ、質の高い支援の提供
 - ・ 地域福祉システム、共生の地域づくりを展望した連携づくり

II 平成二三年度事業計画の 考え方と組織

1 利用者ニーズに答える事業づくり

◎ 昨年の未達成課題である支援マニュアルを今年度中に達成し、各事業所に適応する。

・ 法人の仕事を体系化し、マニュアル化をしていくことは、職員一人ひとりが孤立することなく、組織や地域社会と信頼関係を結びながら質の高い創造的な支援を可能にするとりくみである。

・ 今年度は、私たちの仕事の全貌を明らかにしていくために、全職員の力を集め、学習と実践を積み重ねながら手引書を作成していく。

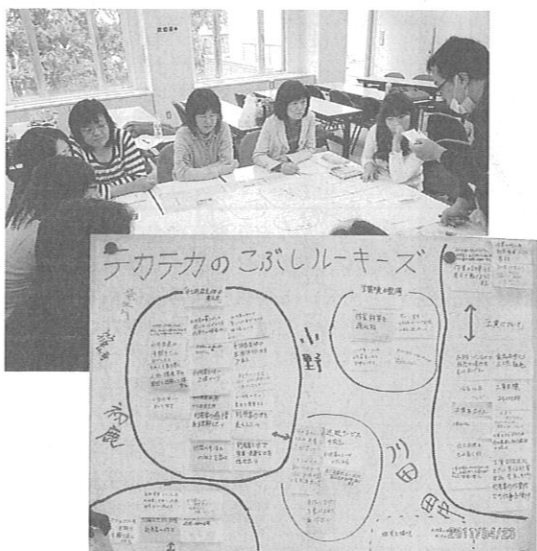
・ こうした仕事の構造化は、教育研修の体系化、人事、キャリアパス制度の構築のみならず、全事業における支援内容の見直しの基礎となるものであり、就労支援部を中心に、すべての法人組織間の連携づくりを伴うものである。

・ 法人が各地域で多様なサービスを展開す

(1) 法人組織の基本的な考え方

・ 部長会議は、理事会で決議された事業計画に基づいて、常設委員会、部、課、プロジェクト、チームの計画立案、進捗管理を行う。

・ 所長会議は、各事業所事業計画推進の諸課題について協議し、計画を実行する機関となる。さらに、今年度は所長の役割を、事業所の統括業務に加え、法人の地域連携企画関連の部署の責任を担うこととした。一方で、三地区の事業所、地域支援に、担当部長を配置し、所長との相談体制をとった。



(4) 地域事業部の機能強化

所長会議、主任会議による研究協議等を通して各事業所の管理運営、利用者支援力を確実に高めていく。

(5) 居住生活支援部の体制整備

正規職員の増員を行い、各地区支援体制を強化する。

(6) 総務・企画部の機能強化

総務・企画部の機能を強化し、財務・

2 組織機構を改善し、利用者・地域ニーズ 実現の内外ネットワークの構築

組織は、法人理念に基づき、役割を明確にした人的資源で構成され、長期的な戦略と事業計画を実現するために、集団の力を目的実現のために束ねていくものである。今年度は、第二次中・長期計画に基づいた昨年度の基本的な組織機構を踏襲しつつ、重点課題、人材の状況を反映した組織の改正を行う。

また、各部署等の役割を明示し、法人組織の情報の集中、指揮命令システムを整理し、事業計画の推進を図る。

総務関連業務の標準化、情報の伝達、集中の一体的システムを構築する。
(7) 法人組織と事業所の職務、決裁権限の明確化
法人機能と事業所の権限・責任を明確にし、事業推進の強化を図る。

3 理事会、評議員会のとらぐみ

体制の強化とともに、執行部門の点検、提案機能を強める。

(1) 理事会の隔月開催と事業計画進行状況の点検強化及び推進の役割を強化する。また、その前提となる理事会の出席率を高める。

(2) 評議員会の経営参加、提言機会の場を拡大する。委員会、プロジェクト等、法人の重要な事業決定について意見具申する。

(3) 理事長・常務理事の部長会議等執行組織の日常的な事業計画推進状況の把握。

(4) 監査役員を中心に、第三者評価実施の検討をすすめる。

4 予算編成の概要

全体として、財政の健全化、利用者ニーズ実現、職員の自己実現へ向けた法人の予算管理を強める。

(1) 事業ごと(日中活動関連事業)の財政の健全化

① 目標工賃の達成と就労支援会計の健全化



② 職員配置に見合った利用率の向上と福祉事業収支の健全化

(2) 常設委員会、部、課の事業計画に基づいた予算執行と法人繰入金金の設定

(3) 平均支出月額額の二か月分の預金(可処分流動資産)の確保

(4) 会計間繰入金(法人事業、居住生活支援事業)の適正化

(5) 借入金返還金、施設・設備積立金の計画的な自主財源の計画的な捻出

5 部長会議(法人事務局)を中核に、部・課との連携を強め、集団経営体制の強化、法人の日常的な課題の適切な推進

(1) 人事管理計画

① 人事・給与体系の策定とキャリアパスシステムの協議状況を見据え、採用、人事異動の日常的で計画的な人事管理をすすめる。

② 職員全業務のマニュアル作成、マニュアルに基づくOJTシステム構築を見据え、各部、課等の組織課題ごとの学習、研修をすすめる。

(2) 労務管理計画

① 適時運営協議会(経営者と職場代表及び労組代表の会議)の開催と重要労務関連の職員協議

② 給与規程等、規程の見直しと整備をすすめる、法人内のルールに基づいた経営に努める。

③ キャリアパス制度の動向を反映しながら、職員一人ひとりの職業生活や人

6 地域との連携

(1) 地区リーダー会議は、地区別後援会と共同し、地域との連携、共生の地域社会づくりをすすめる。

特集2

新・こぶしだより宣言

この数年、こぶしだよりの発行が遅れがちでした。そこで、こぶしだより編集委員もこぶしの会一年目の職員が三名加わり、新・こぶしだより宣言と題して、これまでのこぶしだよりを一新して、みなさんのところにお届けしようと思っております。よろしく願いいたします。ここでは、こぶしだより編集委員五名のインタビュー内容をフレッシュな順番で紹介をさせていただきます。なお、今年度は七月から隔月発行いたします。

こぶしの会の後援会入会のご案内

〈こぶしの会の後援会〉

- ・こぶし作業所後援会(こぶし作業所)
- ・けやき作業所等後援会(けやき作業所、第2けやき作業所、けやきハイツ)
- ・みらいの会(セルフ・みらい)

こぶしの会の各後援会では、各作業所と周囲の人々や社会とを結び窓口となるとともに、作業所の運営を財政的な面から支援します。作業所の運営費の大半は、国や県・市町村から支給される「公費」で賄われています。しかし、十分な利用者支援を行うためには、この費用だけでは運営できないのが実情で、施設独自の財源づくりが何としても必要になります。

そのため、地域の方々のご理解をいただき、皆様に支えられた施設運営・財源づくりにとらぐむことが求められております。

各後援会のご入会またはご不明な点につきましては、各事業所にお問い合わせいただきますようお願いいたします。



所属：上三川ふれあいの家ひまわり 地域活動支援センター(H23年度入社!)

- いけないと思ってもやめられないこと
- チョコレートを食べすぎ♡
- 一枚ペロリと食べてしまう。

- みんなにどうしても聞いてもらいたい自慢話
- プロ野球選手とお食事をしたことがあります。
- 理由と内容は秘密です。

☆こぶしの会に入ったきっかけは？

老人介護を仕事として行っていくことに不安や抵抗があったので、障がいの分野での就職を希望していた。求人情報(大学内の)を見ていたときに「こぶしの会の評判は悪くないわよ」という大学院の同級生のことばにより、こぶしの会の門をたたいた。

☆日々どういった思いで仕事に取り組んでいますか？

利用者の立場で物事を考え、支援を組み立てていくことを常に念頭に置いて、日々学習しながら仕事に取り組んでいます。

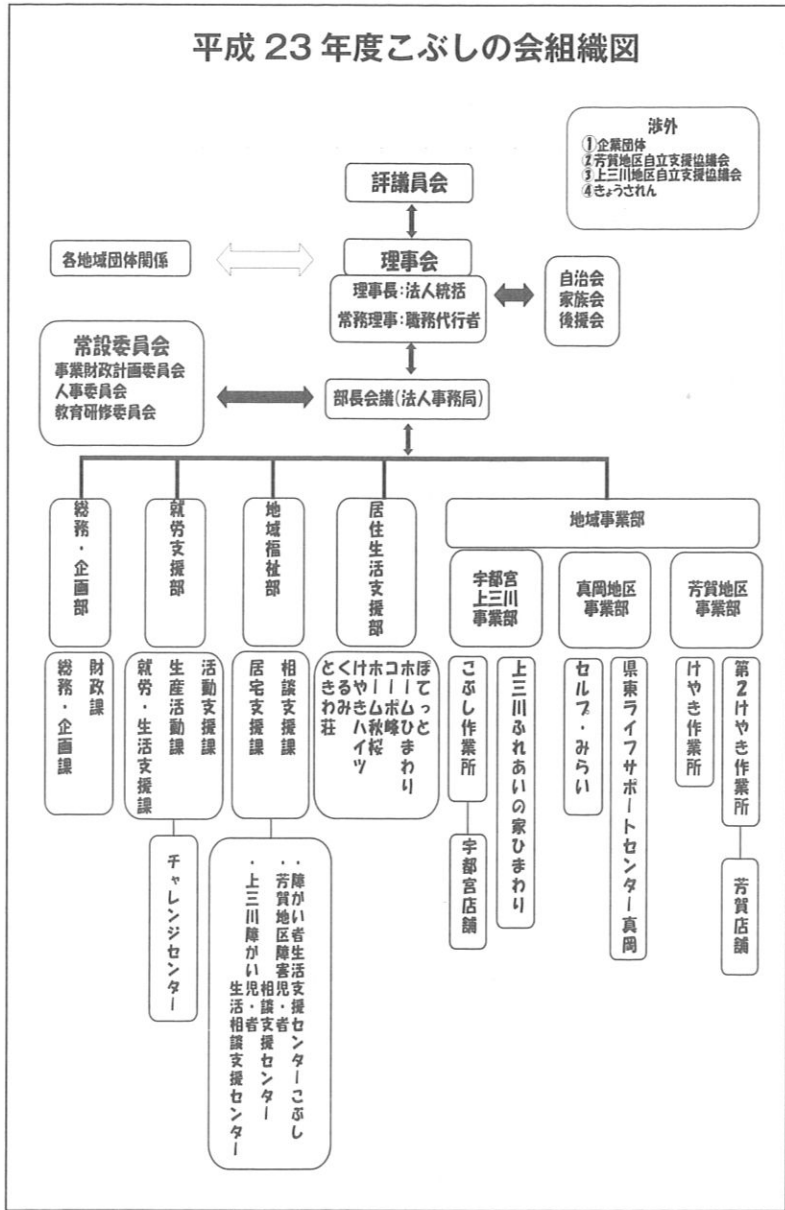
☆1年間こぶしだより編集委員としての意気込みをどうぞ

私が感じた魅力をどんどん記事にして発表しますので、皆さんお楽しみに(^^)/

篠崎 珠己(しのさき たまみ)

- (4) 施設・設備管理計画
- ① 東日本大震災で損傷のあった第2けやき作業所の復興課題を機会に、県東地区の施設機能拠点の検討、法人全体の生産活動の仕組みを見直し、機能の発展的展開を図る。
- ② 送迎体制の整備計画の作成と実施
- ③ 法人IT情報共有化システムの試行と構築

平成23年度こぶしの会組織図



- 9 新規ケアホームの開設
(三名定員・十月開所予定)
- 10 在宅福祉サービスの企画・運営・指定
障害福祉サービス居宅介護等事業の申請
(地域福祉部)
- 11 相談支援事業の拡充・上三川町で新た
に実施(地域福祉部)
- 12 就労支援・生活支援マニュアルの作成
(就労支援部就労・生活支援課、各事
- 13 日中活動支援マニュアルの実施、点検
業所)
- 14 医療的ケアのニーズに応える組織体制
の整備(就労支援部活動支援課)
- 15 医療・リハビリテーション支援のネッ
トワーク構築(就労支援部活動支援課)
- 16 財政の健全化、情報のIT化
(総務企画部)

Ⅲ 具体的事業

- 1 第三次長期計画の策成
(事業・財政計画委員会)
- 2 キャリアパス制度の策定
(人事委員会)
- 3 教育研修体系の作成
- 4 職員研修の実施
(主催研修：全職員研修会、新任職員
研修会、実践交流会、主任研修会；
教育研修委員会)
- 5 利用者の生きがい、働きがいの基礎と
なる高工賃の保障(平均月額工賃三万円
三カ年計画の二年目)(就労支援部生産
活動課・地域事業部・各事業所)
- 6 第2けやき作業所の法人本部への移転
(東日本大震災被災による緊急移転)
八月)
- 7 上三川ふれあいの家ひまわりの指定管
理
- 8 おらがそば茶屋の開店・運営
(芳賀町：第2けやき作業所)

けやきまつりのご案内

地帯 (まきちゆたか) 編集委員

所属：第2けやき作業所 支援員
こぶしの会に入るまで：他県でこぶしの会
のような施設の支援員を行っていた。そこで
は、様々な事業を展開していたにもかかわらず、
事業のねらいがはっきりしていた。こぶしの会
での職歴：第2けやき作業所→セルフ・みらい
→第2けやき作業所(支援員)
勤務年数：5年目
☆日々どういった思いで仕事に取り組んでいますか？
今年、自分自身で目標を定めており、就職者6名を
目指している。
☆昔と今では仕事に対する気持ちの変化はあったのでしょうか？
入社当初と比べても仕事の価値観は変わっておらず、目指
すところは同じだと思っている。
☆1年間こぶしだより編集委員としての意気込みをどうぞ
こぶしだよりを読むのが当たり前のものにしていきたく
と考えています。また、こぶしの会の職員として、こぶしの会
は他事業所がなにを行っているのかを知らないことは恥ずかしいと
考えており、所属する事業所以外のことにも関心をもって仕事に臨む
ことが大切だと思います。そのため、ひとつのツールになるこぶしだ
よりにしたいです。

牧岡 健(まきおか けん) 副編集委員長

所属：法人本部 就労支援部生産活動課課長
こぶしの会に入るまで：運送業を4年ほど勤めたあと、6ヶ月間ヘル
パー養成の学校に通い、ヘルパー1級を取得。勤務年数：5年目
☆日々どういった思いで仕事に取り組んでいますか？
親相手の福祉ではなく、利用者(本人)のためにできることを常
に考えて仕事をしている。思い通りにいけなく、気に入らないこ
とは多々あるが、自分1人ではできないことは少ししかないが、
職員集団、職員が集まればできることはたくさんある、という
ことを心がけて日々仕事をしている。
☆昔と今では仕事に対する気持ちの変化はあったのでしょうか？
こぶしの会に入社した時は、障がい、障がい者について
の知識、接したことがなかったため、障がいを認識する
まで時間がかかった。いまでは、環境のことを気にせず、「障がい」ということばを気にしなくてすむため
の環境を整えることに関する仕事が好きだ。
☆1年間こぶしだより編集委員としての意気込み
をどうぞ
一般社会に威張れるぐらいのものを作ります。
☆もしも、こぶしの会で働いてなかったら、
どんな仕事をしていますか？
運送業界で働いている。

松本 祐一(まこと ゆういち)

所属：東東ライフサポートセンター真岡
(H23年度入社！)
こぶしの会に入るまで：以前は、運送会
社で働いていましたが、仕事上で知り合った
方が、先に福祉の仕事についており、福祉につ
いての大変さや苦労は多くあるが、とてもやり
がいのある仕事であるとの話を聞き、福祉の仕
事に就職したいと考えていました。こぶしの会のこと
も、仕事上で知り合った方に教えていただきました。
☆日々どういった思いで仕事に取り組んでいますか？
一日一日利用者との関わりを大切にしていき、利用者
の相談に関して、その相談内容の背景を考え解決策を考
察し、より良い方向へ進めればと考えています。最近では、利
用者の個性がわかるようになってきており、利用者の声を聞く
ことに対する意気込みが強くなってきています。
☆1年間こぶしだより編集委員としての意気込みをどうぞ
皆さんに愛され、さらに皆さんにとってなくてはならないかけが
えのないこぶしだよりを作っていきたいと考えています。

小野 敦生(おの あつき)

所属：セルフ・みらい(H23年度入社！)
☆こぶしの会に入ったきっかけは？
福祉系の大学に在学中、こぶしの会を知り一度見学をさせてい
ただいた。そのときに、支援のレベルの高さや職員間での緊密
なつながりを聞くことができ、魅力を感じていたからです。
☆日々どういった思いで仕事に取り組んでいますか？
新入職員であるため、足手まといにならないようになら
ばりたいと考えています。また、人との関わりを通じて
仕事への価値観が変わってきており、利用者との関わり
を密にしていこうとすることで、仕事に楽しさを見出し
ています。
☆1年間こぶしだより編集委員としての意気込み
をどうぞ
理解しやすく読みやすいものに、興味を持ち
やすい内容、確実に知っていただきたい内容を
バランスよく掲載していきたいと考えて
います。

